

# 2021年度緊急学生生活調査

(コロナ・ハラスメントに関する状況と意識について)

## 集計結果速報

静岡文化芸術大学

2021年8月

# 学生生活調査について

## (1) 調査目的

新型コロナウイルス感染症の蔓延が長期化し、学生を取り巻く状況が複雑化する中で、現在の学生の状況や意識を調査し、今年度後期以降の学生支援のあり方を考える上での参考とする。

併せて、2020年度のアラメント事案発生を受けて、アラメントに関する学生の状況と意識を調査し、今後のアラメント防止対策の参考とし、また調査を通じて学生のアラメントに関する意識の啓発を図る。

## (2) 調査の内容

設問Ⅰ	コロナによる心身への影響……………	2 ページ
設問Ⅱ	コロナによる家計への影響……………	5 ページ
設問Ⅲ	コロナによる授業・課外活動への影響……………	6 ページ
設問Ⅳ	ハラメント (いじめ・嫌がらせ) ……………	9 ページ
設問Ⅴ	大学の改善点、改善に繋がる提案……………	11 ページ

## (3) 調査対象

2021年7月1日時点で在籍している学部生1～4年生及び大学院1・2年生 (休学者は除く)

## (4) 調査の実施時期

2021年7月21日 (水) ～8月8日 (日) ※

※当初、8月4日 (水) までの予定であったが、回答率向上を図るため、期間を延長して実施。

## (5) 調査の方法

グーグル社が提供するプラットフォーム「Google フォーム」を利用し、WEB 上での回答を依頼。

## (6) 回答結果

	対象者 (人)	回答数 (件)	回答率 (%)
学部 計	1,385	712	51.4
1年生	341	215	63.0
2年生	344	182	52.9
3年生	345	197	57.1
4年生	355	118	33.2
大学院 計	40	22	55.0
1年生	18	14	77.8
2年生	22	8	36.4
計	1,425	734	51.5

	対象者 (人)	回答数 (件)	回答率 (%)
学部 計	1,385	712	51.4
国際文化	444	253	57.0
文化政策	241	144	59.8
芸術文化	232	132	56.9
デザイン	468	183	39.1
大学院 計	40	22	55.0
文化政策	14	9	64.3
デザイン	26	13	50.0
計	1,425	734	51.5

(参考) 2020年度学生生活調査…対象者数 1,444 人、回答数 754 件、回答率 52.2%、実施期間 2020年7月8日～15日

2019年度学生生活調査…対象者数 1,446 人 回答数 498 件、回答率 34.4%、実施期間 2019年7月8日～19日

## 設問 I コロナによる心身への影響

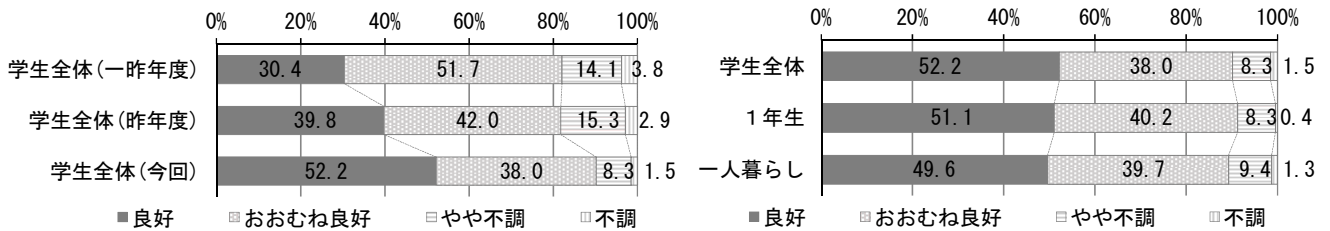
設問 I-1

### 健康状態

過年度に比べて、良好が増加し、不調・やや不調が減少

学生全体では「良好」と「おおむね良好」の合計は90.2%で、昨年度と比べて約8ポイント増加した。このうち「良好」は一昨年度（コロナ前）から2年連続で増加している。「不調」と「やや不調」の合計は9.8%で、昨年度と比べて約8ポイント減少している。

Q:現在の健康状態をどう思いますか。



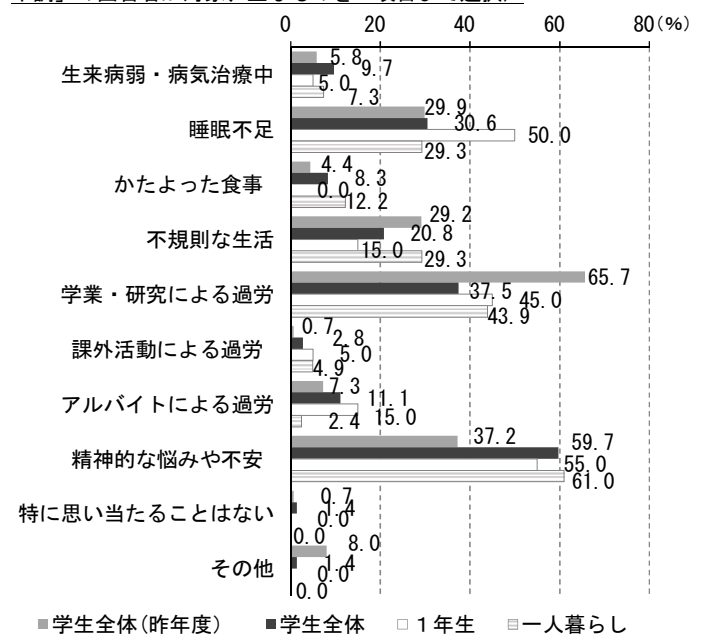
設問 I-2

### 不調の理由

学業・研究による過労が減少し、精神的な悩みや不安が増加

不調の理由について、学生全体では「精神的な悩みや不安」が59.7%と最も多く、続いて「学業・研究による過労」が37.5%、「睡眠不足」が30.6%となっている。昨年度もこの3項目が上位を占めたが、「学業・研究による過労」が約28ポイント減少し、「精神的な悩みや不安」が約23ポイント増加した。また、1年生については「睡眠不足」と「学業・研究による過労」、一人暮らしについては「不規則な生活」と「学業・研究による過労」を挙げた学生の割合が、学生全体に比べてそれぞれ5ポイント以上大きくなっている。

Q:不調だと思う理由は何ですか。(設問 I-1「不調」または「やや不調」の回答者が対象、主なものを2項目まで選択)



その他の回答

・交通事故による影響 (1件)

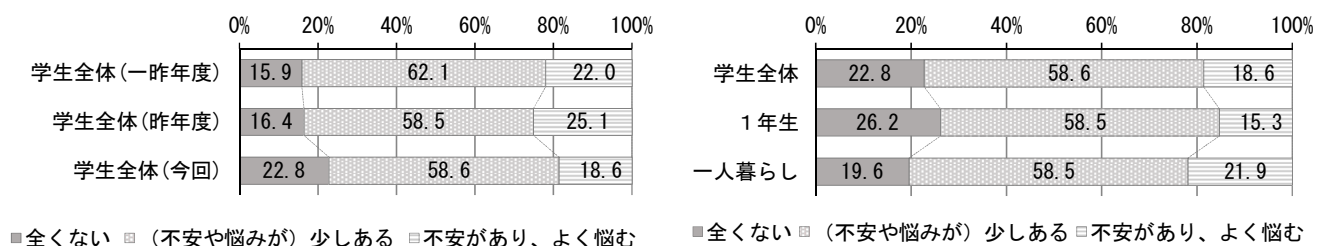
設問 I-3

### 不安や悩み

不安や悩みを自覚する学生は減少傾向

不安や悩みについて、学生全体では「不安があり、よく悩む」が18.6%で、昨年度と比べて約7ポイント減少している。「全くない」は一昨年度（コロナ前）から2年連続で増加している。

Q:現在、不安や悩みがありますか。

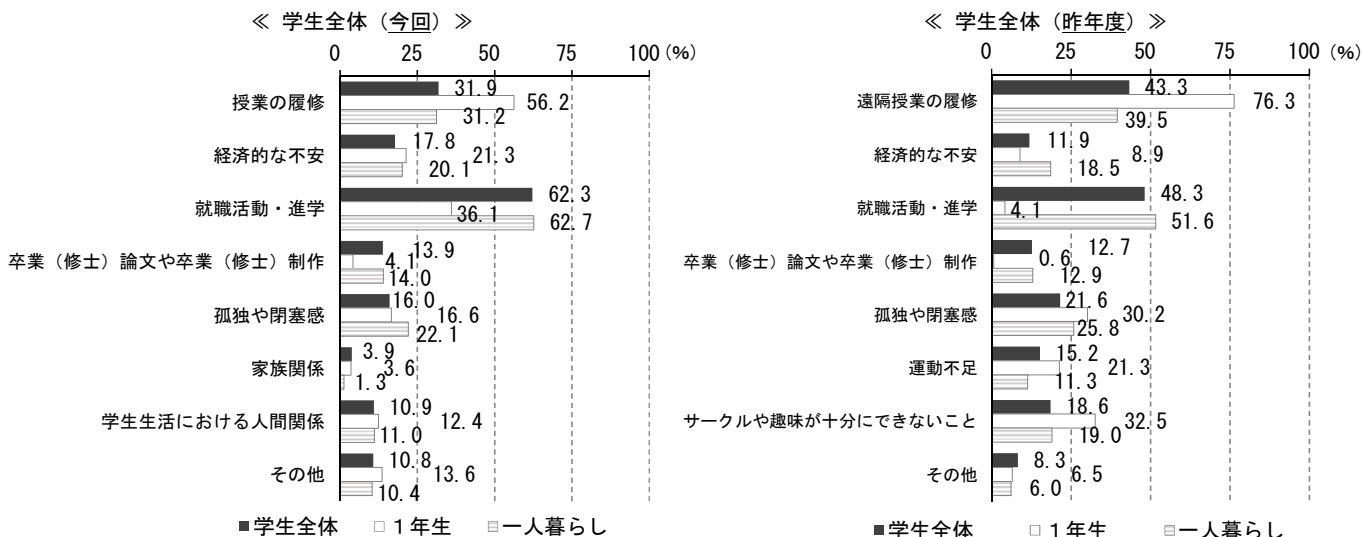


設問 I-4

**不安の原因** 就職活動が最多、次に授業の履修

不安や悩みの原因について、学生全体では「就職活動」が62.3%と最も多く、続いて「授業の履修」が31.9%となっている。昨年度もこの2項目が上位を占めたが、「就職活動」が約14ポイント増加し、「(遠隔) 授業の履修」が約11ポイント減少した。また、昨年度に3番目に多かった「孤独や閉塞感」は約6ポイント減少している。1年生については「授業の履修」、一人暮らしについては「孤独や閉塞感」が、学生全体に比べてそれぞれ5ポイント以上大きくなっている。

Q: 不安や悩みの原因は何ですか。(設問 I-3「不安があり、よく悩む」または「不安や悩みが少しある」の回答者が対象、主なもの2項目まで選択) ※今回と昨年度とで設問は同じであるが選択肢が若干異なる。



今回のその他の回答 (3件以上の類似回答があった項目)

- ・アルバイト関係 (11件)
- ・コロナによる行動の制限 (11件)
- ・体調や健康状態 (10件)
- ・将来に関する不安 (9件)
- ・ゼミや課題の負担 (6件)
- ・自分の性格や能力 (4件)
- ・サークル活動 (3件)

昨年度のその他の回答 (3件以上の類似回答があった項目)

- ・課題の多さ・それによる睡眠不足 (9件)
- ・アルバイト関係 (5件)
- ・後期からの授業の形態 (5件)
- ・留学が思うようにできない (3件)
- ・人間関係 (3件)
- ・健康 (3件)

設問 I-5

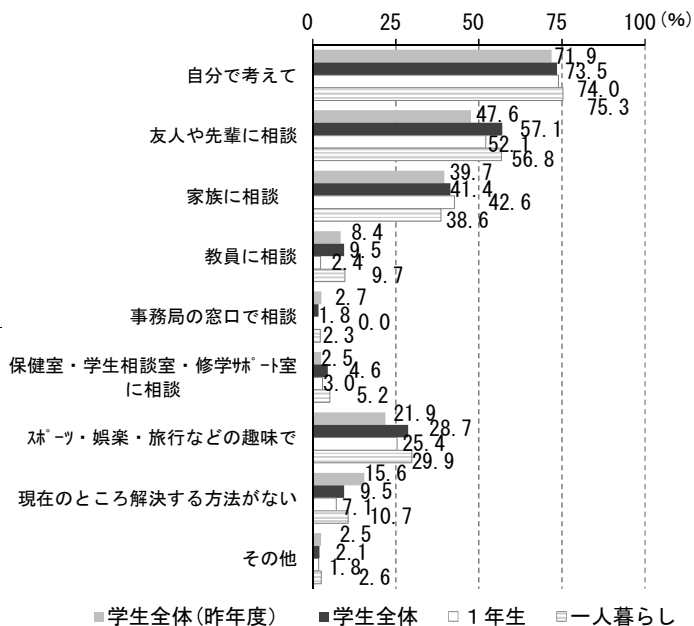
**不安等の解消法** 友人や先輩への相談や趣味での解消が昨年度より増加

不安や悩みの解消法について、学生全体では「自分で考えて」が73.5%と最も多く、続いて「友人や先輩に相談」が57.1%、「家族に相談」が41.4%となっている。昨年度と比べて「友人や先輩に相談」と「スポーツ・娯楽・旅行などの趣味で」がそれぞれ5ポイント以上増加している。

Q: 不満や悩みをどのように(解決・相談)して解消していますか。(設問 I-3「不安があり、よく悩む」または「不安や悩みが少しある」の回答者が対象、該当する項目全て選択)

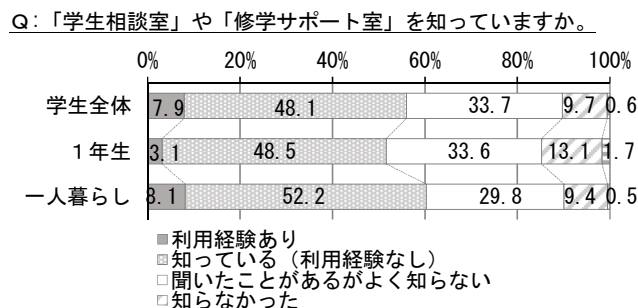
その他の回答 (2件以上の類似回答があった項目)

- ・病院に行く (2件)
- ・事務局・キャリア支援室に相談 (2件)
- ・自分で情報を集める (2件)



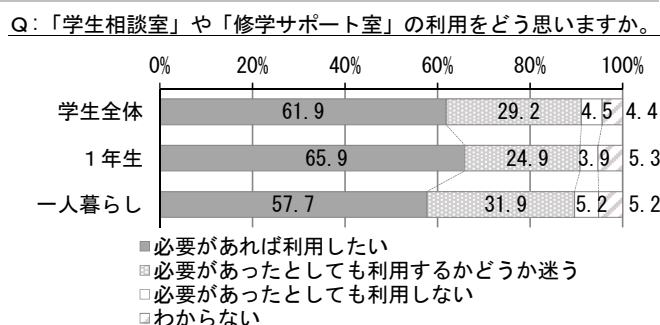
設問 I-6 **相談室の認知度** 相談室を認知している学生は約半数

学内の学生相談室や修学サポート室について、学生全体では「利用経験あり」が7.9%、「知っている（利用経験なし）」が48.1%、「聞いたことがあるがよく知らない」が33.7%、「知らなかった」が9.7%となっている。



設問 I-7 **相談の希望** 利用するかどうか迷う・利用しないが約3割

学内の学生相談室や修学サポート室について、学生全体では「必要があれば利用したい」が61.9%、「必要があったとしても利用するか迷う」が29.2%、「必要があったとしても利用しない」が4.5%となっている。



設問 I-8 **ためらう理由** 相談することへの抵抗感や相談内容に関する迷いが上位

Q: 利用をためらう理由を簡単に教えてください（設問 I-7 「必要があったとしても利用するか迷う」または「必要があったとしても利用しない」の回答者が対象）。

全回答のうち、類似の回答があった上位5項目は以下のとおり。なお、分かりやすさや文体の統一のため、原文は文意を損なわない程度で加除修正している。

- ＞ 相談することへの抵抗感…68件

  - ・人に相談することが苦手。
  - ・自分の悩みを知らない人に打ち明けるのに抵抗がある。
  - ・悩み自体を上手く話せそうにないから。 など
- ＞ 相談内容に関する迷い…33件

  - ・自分の悩みが大したことでないような気がして、些細なことを相談してもいいのか迷う。
  - ・自分の悩み程度であればわざわざ行くのは迷惑ではないかと思う。 など
- ＞ 利用方法の不案内…31件

  - ・利用している人を聞いたことがない。
  - ・どんな雰囲気、どんな相談を受けてくれるのか想像が付き辛く、信用し難い。 など
- ＞ 相談による解決が期待できない印象…24件

  - ・相談したところで解決するのか分からないから。
  - ・仕方ない事だからとまとめられそうだから。 など
- ＞ 身近な人への相談を優先…23件

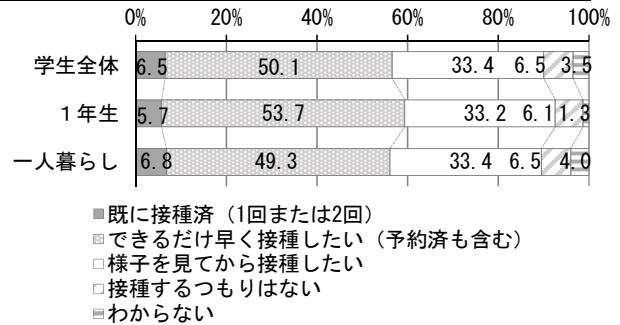
  - ・自分のことをよくわかってきている人に相談したいから。
  - ・話が大きくなったりすると嫌なので、身近な人に相談する方がいい。 など

設問 I-9

**ワクチン接種** 接種を控える（様子見・希望するつもりはない）が約4割

新型コロナウイルスのワクチン接種について、学生全体では「既に接種済」と「できるだけ早く接種したい」の合計は 56.6%、「様子を見てから接種したい」が 33.4%、「接種するつもりはない」が 6.5%となっている。

Q: コロナのワクチン接種についてどのように考えていますか。

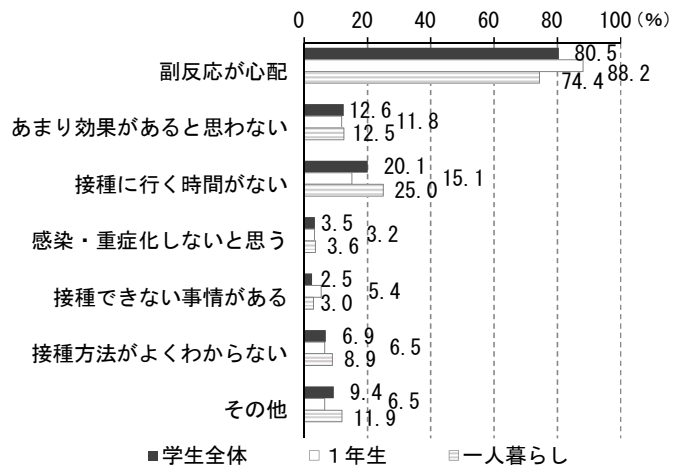


設問 I-10

**接種を控える理由** 「副反応が心配」が約8割

ワクチン接種を控える理由について、学生全体では「副反応が心配」が 80.5%、「接種に行く時間がない」が 20.1%、「あまり効果があるとは思わない」が 12.6%となっている。

Q: ワクチン接種について、そう考える理由は何ですか（設問 I-9 「様子を見てから接種したい」または「接種するつもりはない」の回答者が対象、該当する項目全て選択）。



その他の回答 (3件以上の類似回答があった項目)

- ・接種する場所や時期の都合 (住民票が浜松市にない、副反応が出てもいいよう地元で受けたいなど) …7件
- ・ワクチンに対する不信 (日本製のワクチンを待ちたいなど) …7件
- ・予約が取れない・接種券が届かない…5件

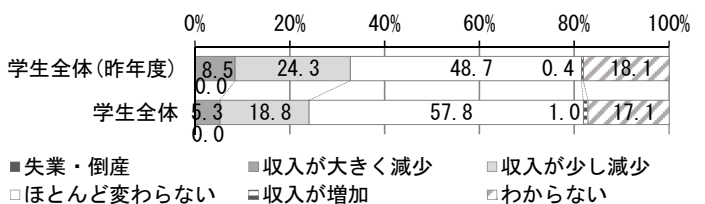
**設問 II コロナによる家計への影響**

設問 II-1

**家庭への影響** 2割強の学生の家庭がコロナにより家計の収入減

生計維持者（両親等）の収入状況について、学生全体では「失業・倒産」が 0%、「大きく減少」が 5.3%、「少し減少」が 18.8%で、合計すると 24.1%となっており、昨年度と比べて約9ポイント減少している。

Q: コロナにより生計維持者（両親等）の収入状況に影響はありましたか。

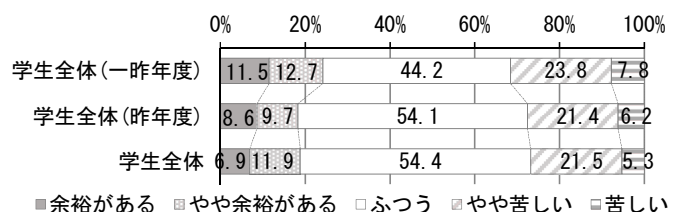


設問 II-2

**経済状況の印象** 3割弱の学生が「やや苦しい」または「苦しい」状況が継続

自身の経済状況の印象について、学生全体では、「余裕がある」と「やや余裕がある」の合計は 18.8%、「やや苦しい」と「苦しい」の合計は 26.8%で、昨年度の調査時とほとんど変化はない。一昨年度（コロナ前）と比べると「ふつう」が約10ポイント増加している。

Q: 今現在、自分の経済状況についてどのように感じていますか。

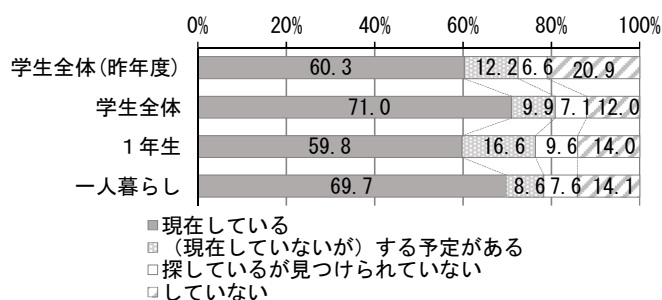


設問Ⅱ-3

**アルバイト** 新入生の1割強がアルバイトに就けない状況

アルバイトの実施状況について、学生全体では、「現在している」が71.0%で、昨年度と比べて約10ポイント増加した。同様に「探しているが見つけれられていない」は7.1%で、昨年度と比べてほとんど変わっていない。1年生については、「探しているが見つけれられていない」が9.6%で、学生全体よりも3ポイント高くなっている。

Q:アルバイトをしていますか。

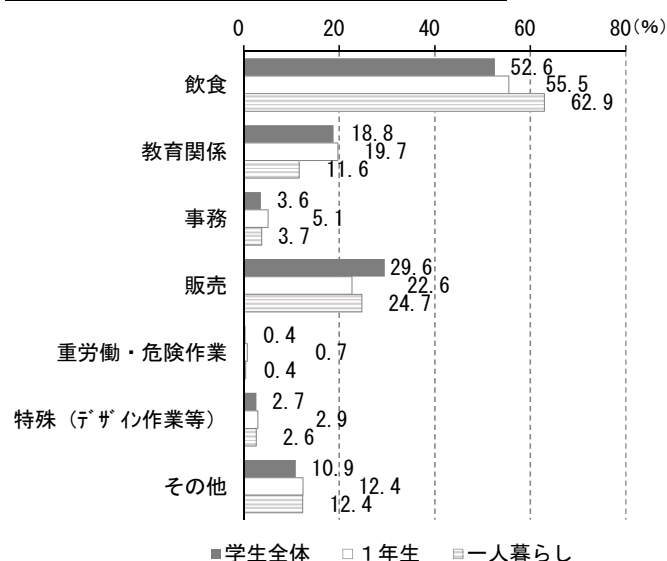


設問Ⅱ-4

**アルバイトの業種等** 飲食、販売、教育関係が多い

アルバイトの業種・職種は、学生全体で「飲食(居酒屋・カフェ・レストラン等)」が52.6%と最も多く、続いて「販売(コンビニ・ドラッグストア・スーパー等)」が29.6%、「教育関係(塾講師、家庭教師等)」が18.8%となっている。

Q:アルバイトの業種・職種を教えてください(設問Ⅱ-3「現在している」の回答者のみ対象、該当する項目全て選択)。



その他の回答(3件以上の類似回答があった項目)

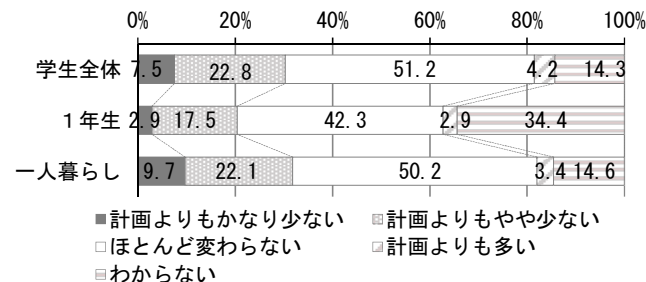
- ・結婚式場…9件
- ・宿泊施設…7件
- ・単発の派遣…5件
- ・イベント…5件
- ・ラジオ等のメディア関係…5件
- ・映画館・娯楽施設…4件

設問Ⅱ-5

**アルバイト収入** 約3割の学生が計画していた収入を得られていない

アルバイト収入は、学生全体で「計画よりもかなり少ない」が7.5%、「計画よりもやや少ない」が22.8%で、これらを合わせると約3割となっている。

Q:今年度に入ってから、コロナによりアルバイトの収入に影響を受けていますか(設問Ⅱ-3「現在している」の回答者のみ対象)。



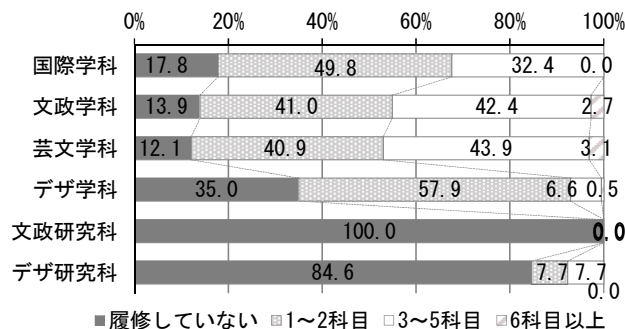
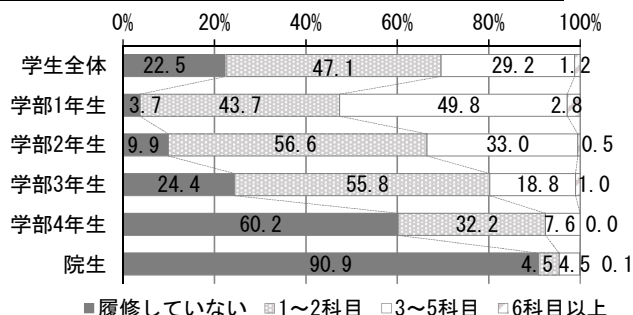
**設問Ⅲ コロナによる授業・課外活動への影響**

設問Ⅲ-1

**遠隔授業の数** 遠隔授業の数は2科目未満が約7割

前期の遠隔授業の科目数について、学生全体では「履修していない」が22.5%、「1~2科目」が47.1%、「3~5科目」が29.2%、「6科目以上」が1.2%となっている。遠隔授業を「履修していない」割合は、学部では学年が上がるに入れて大きくなり、学科別では芸術文化学科が最も小さく、デザイン学科が最も大きい。

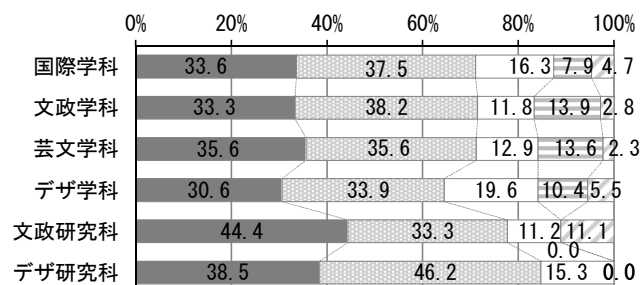
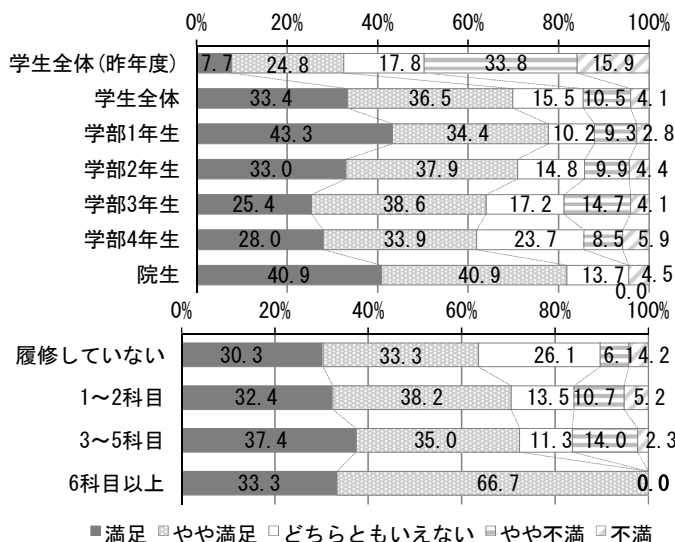
Q:前期の授業では、遠隔授業を何科目履修していますか。



### 設問Ⅲ-2 授業の印象 不満を感じる学生が大幅に減少

授業の全体的な印象について、学生全体では「満足」と「やや満足」の合計は69.9%で、「不満」と「やや不満」の合計の14.6%を大きく上回っている。また、昨年度と比べると「不満」と「やや不満」の合計は約35ポイント減少した。学部の学年別で比べると、「満足」と「やや満足」の合計は1年生が最も大きく、「不満」と「やや不満」の合計は3年生が最も大きくなっている。

Q:授業の多くが対面で、一部が遠隔で行われている今の状況について全体的にはどのような印象をもっていますか。



### 設問Ⅲ-3 不満の理由 対面・遠隔のハイブリットゆえの不満が多数

Q:授業の多くが対面で、一部が遠隔で行われている状況について、不満を感じる理由を具体的に教えてください(設問Ⅲ-2で「不満」または「やや不満」の回答者が対象)。

全回答のうち、類似回答があった上位5項目は以下のとおり。なお、分かりやすさや文体の統一のため、原文は文意を損なわない程度で加除修正している。

- > 授業の形式の統一を望む声…23件
  - ・通学に時間がかかるため、対面と遠隔の両方があると遠隔の授業を受ける時間的余裕がない。
  - ・対面→オンライン→対面のように、1日の中で形式が変わると履修しにくい。 など
- > 遠隔での授業を望む声…34件
  - ・一部の講義だけ遠隔で行うのでは感染症予防の効果が弱いのではないかと思います。

(次頁に続く)



- ・ 遠方からの通学なので、その間のコロナの感染が心配。
- ・ 座学は対面でなくても良いのではと思った。後で見返すことができることは遠隔（オンデマンド）の強みだと思う。
- ・ 暑くなる時に学校に行くのは大変なので6～8月は遠隔授業にしてほしい。 など

＞ 遠隔授業の弊害・改善…12件

- ・ 遠隔授業は課題が多い。対面授業のための通勤時間も必要で課題に取り組む時間がない。
- ・ 対面授業の間に遠隔授業があると、遠隔授業を受けられる場所が少ない。 など

＞ 対面授業に関する声…12件

- ・ 遠隔だと集中できないので、対面型の授業の方がいい。
- ・ 対面授業を受けられるのは嬉しいが、県外から通う学生も多い中で、コロナの感染拡大防止に関して「このままで大丈夫なのかな」という不安はある。 など

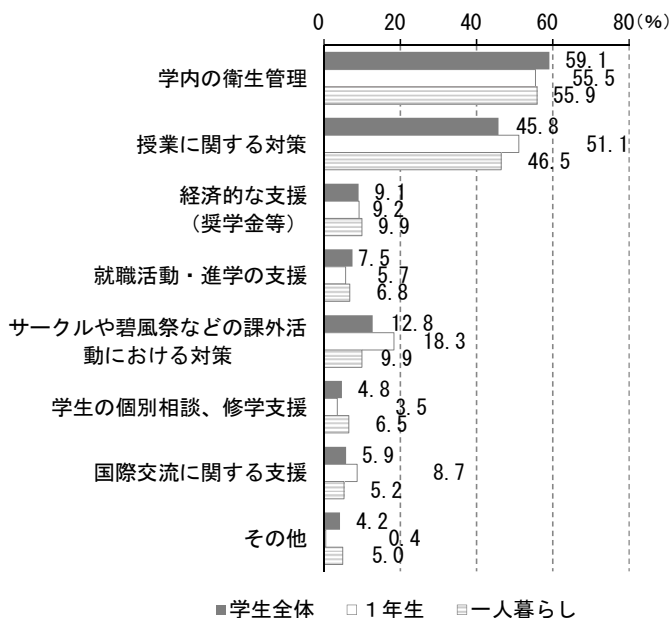
＞ やる気がでない…7件

- ・ 出席確認や成績の判断がわかりづらく、モチベーションが保てない。
- ・ 対面授業が多いと遠隔授業へのやる気が減る。 など

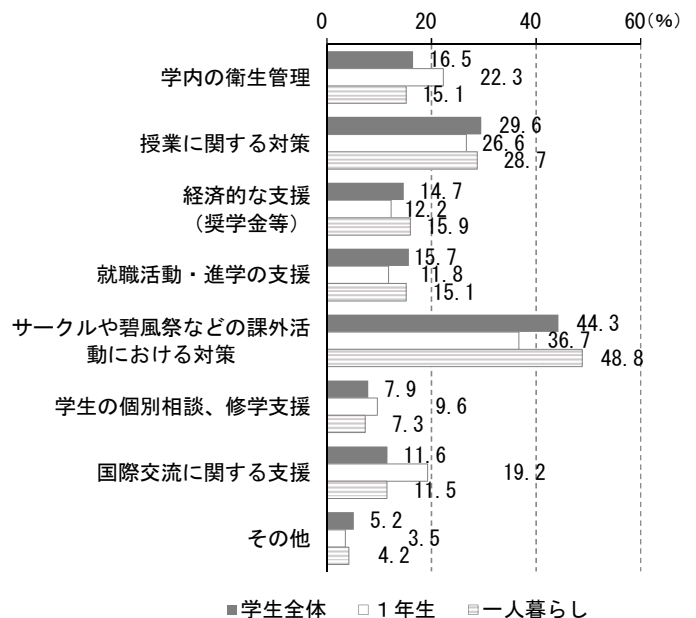
設問Ⅲ-4 **大学の取り組み** 約2割の学生は相談相手が不在

好意的に評価できる大学のコロナ対策の取り組みについて、学生全体では「学内の衛生管理」が59.1%、続いて「授業に関する対策」が45.8%となっている。不満に感じることとして、学生全体では「サークルや碧風祭などの課外活動における対策」が44.3%、「授業に関する対策」が29.6%となっている。

Q: コロナに関する大学の取り組みについて、好意的に評価できることは何ですか（主なもの2項目まで選択）。



Q: コロナに関する大学の取り組みについて、不満に感じることは何ですか（主なもの2項目まで選択）。



その他の回答

- ・ 購買での生活の応援…1件
- ・ 出会いの広場の工夫…1件
- ・ 対面授業…1件

その他の回答（2件以上の類似回答があった項目）

- ・ 施設の使用時間の制限…3件
- ・ 令和2年前期の授業料の返還…2件

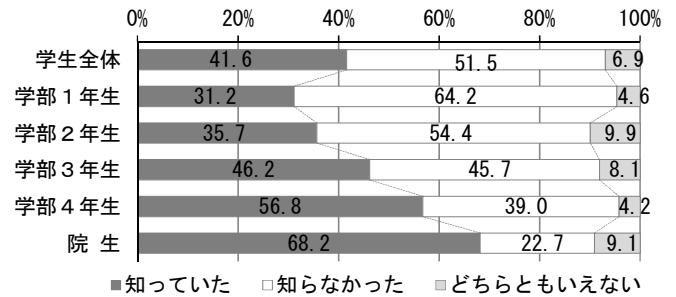
## 設問Ⅳ ハラスメント（いじめ・嫌がらせ）について

設問Ⅳ-1

### 相談窓口 知っている学生は約4割

ハラスメントの相談窓口について、学生全体では「知っていた」が41.6%（昨年度：45.2%）となっている。「知っていた」の割合は、学部・大学院とも学年があがるにつれて大きくなっている。

Q:大学では学内・学外それぞれにハラスメントの相談窓口を設けていますが、これらの相談窓口を知っていましたか。

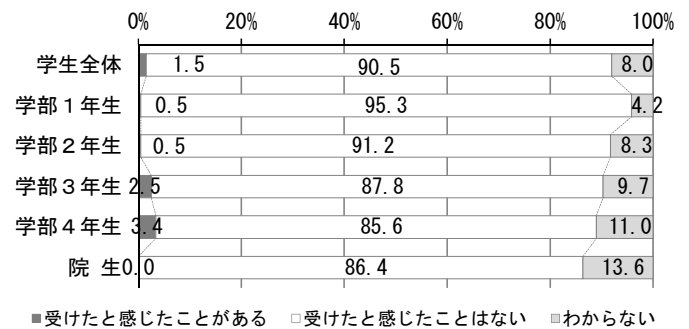


設問Ⅳ-2

### 自身の被害経験 約2%の学生が受けたと感じたことがある

大学の入学後、学内におけるハラスメントについて、学生全体では「受けたと感じたことがある」が1.5%（11人/734人、昨年度2.0%）となっており、この割合は、学部では学年があがるにつれて大きくなっている。

Q:大学入学後、本学の教職員や学生からハラスメント（いじめ・嫌がらせ）を受けたと感じたことはありますか。



「よくわからない」は、学生全体で8.0%となっている。

■受けたと感じたことがある □受けたと感じたことはない ■わからない

件数 (%)

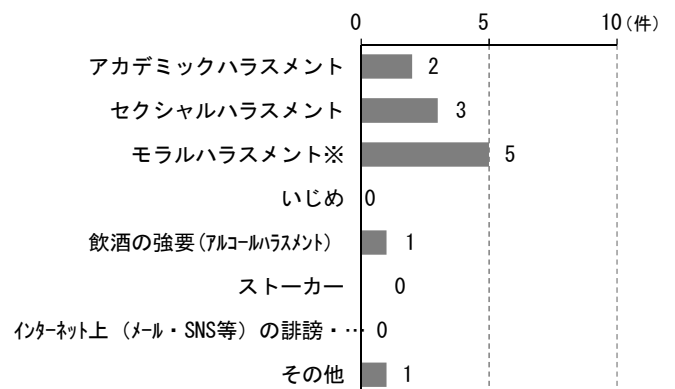
	学生全体	学部1年生	学部2年生	学部3年生	学部4年生	院 生
受けたと感じたことがある	11 (1.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)	4 (3.4%)	0 (0.0%)
受けたと感じたことはない	664 (90.5%)	205 (95.3%)	166 (91.2%)	173 (87.8%)	101 (85.6%)	19 (86.4%)
よくわからない	59 (8.0%)	9 (4.2%)	15 (8.3%)	19 (9.7%)	13 (11.0%)	3 (13.6%)
合計	734	215	182	197	118	22

設問Ⅳ-3

### 経験した被害 モラハラが最多、続いてセクハラ、アカハラが多い

大学入学後、学内で自身が経験したハラスメント被害の種類について、「モラルハラスメント※」が5件（昨年度9件）と最も多く、続いて「セクシャルハラスメント」が3件（昨年度7件）となっている。

Q:どのようなハラスメントを受けたと感じましたか（設問Ⅳ-2「受けたと感じたことがある」の回答者が対象、該当する項目全て選択）。



※モラルハラスメント…道徳的でない言葉や態度による嫌がらせ

その他の回答

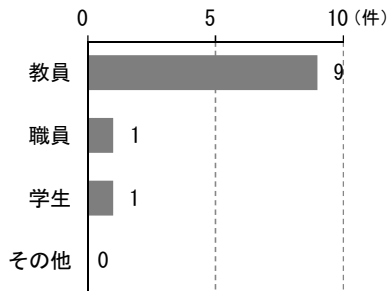
・自分の発言や行動について無理だと否定された…1件

設問IV-4

**ハラスメントの状況** 学内でのハラスメントはゼミ中が最多

大学入学後、学内でハラスメントを受けたと感じたことについて、その相手は「教員」が9件、「職員」と「学生」が1件ずつであった。「ゼミ中」が4件と最も多く、続いて「授業中」が3件となっている。

Q:どのような相手からハラスメントを受けたと感じましたか(設問IV-3「受けたと感じたことがある」の回答者が対象、該当する項目全て選択)。



Q:貴方がハラスメントを受けたと感じたのはいつですか(設問IV-3「受けたと感じたことがある」の回答者が対象、該当する項目全て選択)。

相手	状況
教員	ゼミ中4件、授業中2件、サークル以外の課外活動中2件、学外1件
職員	サークル活動中1件
学生	授業中1件

設問IV-5

**被害の相談** 友人・知人への相談が最多

ハラスメント被害を受けた際の相談について、誰かに「相談した」は8人、「相談しなかった」は3人となっている(昨年度は「相談した」が12人、「相談しなかった」が3人)。「相談した」と回答した人について、その相談相手は「友人・知人」が6件と最も多く、続いて「家族・親戚」「身近な教員」が2件ずつとなっている。

Q:ハラスメントを受けたと感じて、誰かに相談しましたか。具体的に相談した相手を教えてください。(設問IV-3「受けたと感じたことがある」の回答者が対象、相談相手は該当する項目全て選択)。

	人数		相談相手	件数	相談相手	件数
相談した	8	→	家族・親戚	2	大学の相談窓口	0
相談しなかった	3		恋人・パートナー	1	学外の相談窓口	0
覚えていない	0		友人・知人	6	その他	0
合計	11		身近な教員	2		

設問IV-6

**相談しない理由** 人間関係への不安や自分が我慢すればいいという考えから

相談しなかった理由については、3人の回答者、6件の回答があった(複数回答可)。相談しなかった理由は、「今後の人間関係に支障がでると思った」と「自分が我慢すればいいと思った」がそれぞれ2件、「相談しても解決しないと思った」と「成績(単位)・資格・就職等に影響がでると思った」がそれぞれ1件となっている。

Q:相談しなかった理由を教えてください。(設問IV-5「相談しなかった」の回答者が対象、該当する項目全て選択)。

相談しなかった理由	件数
相談しても解決しないと思った	1
今後の人間関係に支障がでると思った	2
成績(単位)・資格・就職等に影響がでると思った	1
他人に知られなくなかった	0
大げさにしたくはなかった	0
誰に相談したらよいか分からなかった	0
自分が我慢すればいいと思った	2
加害者から口止めをされた	0
証拠がなく、あきらめた	0
その他	0
合計	6

設問Ⅳ-7

**被害の見聞き** 約3%の学生が被害を見聞きしたことがある

身の回りの人が受けた(受けている)ハラスメントについて、学生全体では「見かけたことも相談されたこともある」と「見かけたことはある」と「相談されたことはある」の合計は23件(3.2%)、「わからない」は56件(7.6%)となっている。

Q:この1年間に、身の回りの人が学内の教職員や学生からハラスメントを受けているところを見かけたり、ハラスメントを受けた本人から相談されたりしたことはありますか。

件数 (%)

	学生全体	学部1年生	学部2年生	学部3年生	学部4年生	院 生
見かけたことも相談されたこともある	7件(1.0%)	1件(0.5%)	1件(0.5%)	1件(0.5%)	3件(2.5%)	1件(4.5%)
見かけたことはある	6件(0.8%)	1件(0.5%)	1件(0.5%)	3件(1.5%)	1件(0.8%)	0件(0.0%)
相談されたことはある	10件(1.4%)	2件(0.9%)	1件(0.5%)	3件(1.5%)	3件(2.5%)	1件(4.5%)
特にない	655件(89.2%)	196件(91.2%)	165件(90.7%)	173件(87.8%)	105件(89.0%)	16件(72.7%)
わからない	56件(7.6%)	15件(6.9%)	14件(7.8%)	17件(8.7%)	6件(5.2%)	4件(18.3%)
合 計	754件(100%)	215件(100%)	182件(100%)	197件(100%)	118件(100%)	22件(100%)

設問Ⅳ-8

**大学への要望** ハラスメント防止にむけた前向きな意見が多数

Q:ハラスメントの防止に関して、大学に要望したいことがあれば教えてください。

全回答のうち、2件以上の類似回答があった項目は以下のとおり。なお、分かりやすさや文体の統一のため、原文は文意を損なわない程度で加除修正している。

- > 教職員の言動の改善…8件
  - ・個人の考えを学生に押し付けるような言動はしないでほしい。
  - ・言葉遣いを直してほしい。
  - ・学生の人選を平等に行ってほしい。 など
- > ハラスメントの相談体制の改善…5件
  - ・学科毎の相談員を複数人用意してほしい。
  - ・相談窓口があることをもっと広報した方が良いと思う。 など
- > 学内での意識啓発…4件
  - ・教員と学生向けにハラスメント講座等を開き、強い注意喚起をしてほしい。
  - ・ハラスメントを具体的に例示して、加害者・被害者が気づけるようにしてほしい。 など

**設問Ⅴ 大学の改善点、改善に繋がる提案**

設問Ⅴ-1

**大学の改善点** 施設・設備や学生支援に高い関心

Q:コロナやハラスメントに関わらず、大学に改善してほしいと思うことがあれば教えてください。

全回答のうち、5件以上の類似回答があった項目は以下のとおり。なお、分かりやすさや文体の統一のため、原文は文意を損なわない程度で加除修正している。

授業に関する意見…27件

- > 遠隔授業の積極的な採用…8件
  - ・対面授業が必要ないと思われる授業はオンデマンド型の授業にしてほしい(自分のペースで受講でき、何度も復習できるのがよい)。
  - ・授業が1限からあるものはできるのなら遠隔にしてほしい。混雑する時間を避けさせてほしい。 など (次頁に続く)

- ＞ 時間割・教室の割り当ての改善…6件
  - ・オンデマンド型の授業ならば、その時間に被った授業も取れるようにしてほしい。
  - ・中講義室でも人数が多い授業があり、息苦しさを感じる場面があったため、そういった授業は遠隔授業などにしてほしい。 など
- ＞ その他…13件
  - ・遠隔授業を減らしてほしい。
  - ・去年、授業の遠隔化で実習科目が無くなったり、定員が制限されたために履修ができず、単位が十分にとれなかった。今年はそれを取り返すために演習科目を多く履修しているため、課題の量が極端に多くて大変である。何か配慮してほしい。 など

#### 学生の支援に関する意見…36件

- ＞ 課外活動の制限の緩和…10件
  - ・部室やサークル活動の制限をもう少し緩くしてほしい。
  - ・学生の自主的な活動の規制は解除されたけれど、コロナの対策が疎かではないかと思う団体もあり、今一度アナウンスを徹底してほしい。
- ＞ コロナに関する授業料の返還・経済的な支援…6件
  - ・施設が十分に利用できないのに例年と同じ授業料を徴収されていることに違和感がある。
  - ・今年度は学内で実習ができないため、外部へ行かなければならないが、交通費がかかるので補助してほしい。 など
- ＞ その他…20件
  - ・教室借用などの手続きをオンライン上でできるようにしてほしい。
  - ・事務局の中でももう少し情報を共有してほしい。 など

#### 施設・設備に関する意見…114件

- ＞ 空調設備やその運用に関すること…33件
  - ・教室によって冷房が効いていないところがある。また、授業中に止まってしまい、暑くて耐えられなくなりそうなので何か対策していただきたい。
  - ・夏は朝から暑いのに、1限の時間冷房が全然効いていなくてとても暑い。下敷きやうちわで仰いでいる人が多くいる。授業に集中できなくなるので改善してほしい。 など
- ＞ 施設の使用・開放時間に関すること…22件
  - ・図書館・情報センターを学生限定でいいので土日も開館してほしい。
  - ・コース演習室等の使用時間を拡大してほしい。 など
- ＞ Wi-Fiの拡充に関すること…14件
  - ・Wi-Fiを使える教室を増やしてほしい。
  - ・学生ラウンジでは混雑時にWi-Fiが繋がりにくいいため回線を強化してほしい。 など
- ＞ 学生食堂・購買のサービスに関すること…14件
  - ・営業時間を長くしてほしい。
  - ・学生食堂のメニューの価格が少しでもさがればありがたい。 など
- ＞ 駐輪場・自転車に関すること…8件
  - ・放置自転車を撤去してほしい。
  - ・北駐輪場がいつも混んでいる。いつも出入口に停めている人がいて、通れない。など
- ＞ その他…23件
  - ・雨の日に廊下を歩くと濡れてしまうのを何とかしてほしい。
  - ・タバコが吸える場所がほしい。 など

Q：コロナやハラスメントに関わらず、大学のことについて、何か前向きな提案やアイデアがあれば教えてください。

全回答のうち代表的な提案は以下のとおり。なお、分かりやすさや文体の統一のため、原文は文意を損なわない程度で加除修正している。

＞ 大学運営に関する提案… 2件

- ・男女共同参画についての取り組みをしてほしい。私は文化政策学科の学生であるが、ゼミ選択の際に男性教員の比率が高いことを感じ、また、本学の役員等をみても女性の名前を見つけることが難しく、もやもやした気持ちを抱いた。学科によって違いはあるものの、女性教員の比率がとても低い。このことについて大学としての考えを聞くことができたら嬉しい。社会全体で男女共同参画が進む中で、とても前向きな取り組みになると思う。
- ・ある教員の方が私と2人で話をする際、必ずドアを開けて外から見えるようにしていた。学生からしても教員からしても、誤解を避けられるよい取り組みだと思った。

＞ 学内の交流に関する提案…13件

- ・文化政策学部とデザイン学部とでは、活動場所や履修している授業も大きく違うため、関わる機会が少ない。協力して行う企画や、交わるきっかけの場があれば面白い。
- ・スポーツ大会やクイズ大会など、学生が主催して、他の学科の人と交流する機会がほしい。
- ・学生が関わるイベントをもっと増やしてほしい、またそういったイベントで教員と楽しく関わる機会もあつたらいい。
- ・ラウンジのホワイトボードのような、様々な人が自由に描ける大きいキャンバスがあつたらいい。
- ・本学学生限定のSNSがあれば、遠隔授業が多かったり、サークル活動が行えなくとも、友人が作りやすかったり、本来であれば知り合うことのない同志と知り合えると思う。 など

＞ 学生支援に関する提案… 5件

- ・学生たちが使用済みの教科書や本、または使わないノートなどをSUAC内でシェアできる仕組み(SUACシェアステーション)を作りたい。ラウンジにその場所があつたらいいと思う。
- ・就職ガイダンスは、外部講師による表面的な就職活動についての説明が多く、あまり参考にならなかった。キャリア支援室の職員の具体的な話が聞ければ、より早い時期から真剣になれたり、相談しようという気になれたと思う。予約等利用の仕方の案内はあつたが、具体的な支援内容をPRすると、進んで利用する学生が増えると思う。 など

＞ 感染症・熱中症対策に関する提案…11件

- ・ワクチン接種がある程度進んでも、マスク着用のお願いやアルコール・アクリル板の設置を続けてほしい
- ・全てのトイレの出入り口付近に消毒液を置いてほしい。
- ・2階ラウンジが人で溢れているという印象なので、他にもラウンジのような場所を1～3階にあれば人混みを分散させることができるのではないかと思う。
- ・高校の頃、授業中に先生がみんなに呼び掛けて給水していた。特に日中3、4限の授業の際にそういう取り組みをしてみたらいいと思う。 など

(次頁に続く)

＞ 施設・設備に関する提案…32 件

- ・ 購買の開店時間を 30 分くらい早めてほしい。
- ・ 学生食堂にベジタリアンメニューを導入してほしい。
- ・ ラウンジや学生食堂でカフェのようにオシャレな音楽が流れていたら気分が良くなりそう。
- ・ 図書館・情報センターでジェンダーに関する特設コーナーが期間限定で設置されたことがよかった。また、何かの分野の特設コーナーが設置されたい。
- ・ デザイン学科には様々な領域の学生がいる。それを活かせるよう、キャンパス内が美術館みたいになってほしい。西ギャラリーだけでなく、エントランスなど色々なところで作品が展示されていると楽しい空間になると思う。
- ・ 体調を崩す日が多くある。しばらく休めば体が落ち着く。外に置いてあるベンチやコース演習室では人がいてリラックスできない。気軽に休めるような小さなスペースがほしい。
- ・ シェアサイクルがあるといい。
- ・ エントランスの水辺を田んぼとか養魚場とかプールとか活用してほしい。
- ・ 壁とか床が単調でつまらないのでステッカーとか落書きとかあればいい。
- ・ 外階段に、夜でも段差が分かるよう、反射板をつけてほしい。
- ・ 学内の案内サインや地図は、読めなくなっているものがあるので、一新した方がいい。
- ・ 学内の木や草などの植物が気に入っている。他にも花があったら、華やかになり、植物に注目する人が増え、よいことがあると思う。 など

＞ 情報発信に関する提案…6 件

- ・ 学内のわかりやすいフロアマップが大学ホームページ内にあるといいと思う。
- ・ 食事や休憩などができる教室を分かりやすくリストにして配信してほしい。
- ・ オンライン講義の拡大などで大学の知名度を上げる工夫をしてはどうか。県内の他大学に比べて本学は知名度が低いと感じる。珍しい研究や学科があるのだから、オンライン講義の拡充し、もっと認知を高めていけたらよい。 など